

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	程度が生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、コラムや巻末資料等が充実していて、副教材を持たせることが難しい本校の実情に合っている。
	地理歴史	程度が生徒の実態に即し、適当である。また、写真や図解が効果的に用いられており、生徒の理解を助けることができる。
	公民	基本的事項から発展的な内容まで丁寧な記述がなされている。また図版や写真が豊富に用いられており、生徒の理解を助けることができる。
	数学	内容が、本校生徒の学力に適切である。
	理科	内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。
	保健体育	程度が生徒の実態に即し、イラスト等が見やすく、教科の目標に適合している。
	芸術（音楽）	程度が本校生徒に適合し、内容・表現が日本また世界の音楽文化の良さを味わえるよう工夫されている。
	芸術（美術）	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目的に適合している。また、印刷が鮮明である。
	芸術（書道）	程度が生徒の実態に即し、適当である。また、内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。
	外国語	内容が教科・科目の目標に適合し、程度が本校生徒の実態に即している。
	家庭	程度が本校生徒の実態に即している。内容は教科・科目の目的に適合している。また、内容が系統的であり、関連付けも適切である。
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	内容が科目の目標に適合している。また、イラスト・写真が多く、関連付けも適切である。
	工業	内容が教科・科目の目標に適合し、程度が本校生徒の実態に即している。
	家庭	内容が教科・科目の目的に適合している。